

令和5年度
教育に関する事務の管理及び執行状況の
点検・評価報告書



公設学習塾「まち塾」特別授業

令和6年3月
出雲崎町教育委員会

目 次

	頁
はじめに	1
I 総合教育会議	3
II 教育委員会の会議及び活動状況	4
III 学校教育	
1 出雲崎小学校	7
2 出雲崎中学校	11
3 学校支援地域本部事業	15
IV 社会教育事業の実施状況	
1 社会教育・公民館事業	19
2 図書館事業	26
3 社会体育事業	29
V 学校・社会教育施設の整備充実	34
VI 学識経験者からの総合評価	35
VII その他	36

はじめに

1 点検評価の公表

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定により、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況等について、学識経験者を活用して、毎年教育委員会自らが点検・評価を行い、その結果を議会に提出するとともに、公表することが義務付けられている。

本報告書は、これに基づき効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たすため、令和5年度の出雲崎町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価を行った結果を報告するものである。

2 学識経験者の知見の活用

令和5年度の点検・評価に当たっては、学識経験を有するものとして、元長岡市立東中学校長の佐藤忠弘氏（長岡市・旧三島町在住）から、第6次出雲崎町総合計画における教育関係の基本計画及び町教育計画を踏まえて、本年度事業及び次年度に向けて助言・指導を得た。

3 報告書の内容から見られる評価

- (1) 本年度計画していた柳津町教育委員との研修は、新型コロナウイルス感染症が本年度5月に5類感染症に位置付けられたため、計画を試みたが日程の調整がつかずやむなく中止とした。来年度以降も委員の資質向上に向けた研修機会を設けていく。
- (2) 確かな学力向上に向けて小学校1校・中学校1校のメリットを生かすため児童・生徒主体の授業構成、振り返りを重点にしており、また発達段階に応じて学ぶ環境や習慣の基礎、基本を大切にした教育を実践している。全国学力学習状況調査の結果では、小・中学校ともに国語、算数、数学は全国平均及び県平均を上回っているが、中学校の英語は全国平均及び県平均を下回る結果となっている。今後も基礎的基本的な内容を確実に習得させる授業を大切にするとともに、英語力の向上と家庭学習時間を一層増やしていく取り組みが必要である。
- (3) 学習指導、生徒指導の教育活動の充実を図るため、教員補助員を小学校3名、中学校に2名配置している。特に外国語では、表現力、コミュニケーション力を身に付けさせるため、小3から中3まで英語指導員を配置している。
また、理科や数学に対する子供たちの興味、関心が薄れ、学力低下との指摘があることから、小3から小6の理科には「理科教育支援員」を配置し、教員をサポートする体制の継続を図るとともに、中学校入学後における理科教育に対する意欲、関心等の充実及び学力向上に結び付くよう取り組んでいる。
- (4) 社会教育活動では、「出雲崎総合大学」事業は、25年間継続している事業で参加者の満足度も高く喜ばれているが、今後も多彩な講座やセミナーを計画していく中で、身に着けた知識や技能を地域などで活かすよう「まなびアシスト人材バンク」への登録を努める。
- (5) 小学校児童の放課後の学びの場として、「放課後子ども教室」「放課後児童クラブ」をより安全に過ごし、多様な体験や活動を行うことができるように

「放課後子ども総合プラン運営委員会」で、検証・評価を行っているが本年度は、両事業とも上手に連携がとれたことから開催しなかった。

- (6) 新型コロナウイルス感染等様々なリスク対策に係る学校、公共施設での必要な物品や対応マニュアルを作成し随時見直しを行い運用している。特に学校での万一来に備えた行動パターンを学校と共有することができた。

4 今後の点検・評価にかかる重点事項について

次年度は、特に次の事柄に配慮しながら、取組んで参りたい。

- (1) GIGA スクール構想を更に進めるに当たり、すべての児童生徒が一人一台の端末を有効適切に活用し、個別最適な学びを確立できるように教育行政の質的向上に努めた。そのために学校現場が ICT 機器を活用した授業づくりを積極的に進めることができるような研修体制の構築を図っている。
- (2) 令和3年度から、小学校で発達障害の通級指導教室が開設されたことに伴い、通常学級に在籍していながらも特別な支援を要する児童生徒が、町内で個々のニーズに応じた指導が受けられる体制が整備され運用されている。
- (3) 中学校の新学習指導要領全面実施に伴い、児童生徒個々の学力を確実に高めていくために、小・中連携した学習の取り組みをさらに進めていく。特に小学校3, 4年生の英語活動、小学校5, 6年生の教科英語、新学習指導要領の下での中学校英語の連携を一層緊密にしていくことが求められている。教育委員会が町教研活動に働きかけながら教職員の研修意欲を高めていく。
- (4) 学習面では、小・中学校の9年間で発達段階に応じた指導を進めているが、学力テスト結果からさらに家庭学習の充実、定着を図り学力向上に努めたい。
総合学習等では、良寛学習を継続して行い、児童生徒一人ひとりが学習資料をファイル化し、学習成果の継続性を図っていき、その成果を称え中学校卒業時に「良寛学習修了証書 慈愛」を授与し、「ふるさと出雲崎・郷土の誇りである良寛の心」を持ち続ける学社連携事業を着実に進めたい。
- (5) 特別な支援が必要な児童生徒が増加傾向にあることから、特別支援教育の充実を図るため、教員補助員や介助員の配置により特性に応じた指導、支援を行い、一人一人の基本的な生活習慣の定着、コミュニケーションや社会性の向上を支援していく。学校側からも人的確保が充実されており喜ばれている。
- (6) 町民が心豊かな人生をおくるため、「家庭・地域の教育力の向上」「家庭・地域・学校・行政が一体となった生涯学習の推進」「歴史・文化・芸術の振興」の3つを施策の柱として進めていく。青少年育成や成人の学習活動で教室、講座、イベントなど行政が行うものに加え、自主的な団体活動の学習機会の充実を図っていく。
- (7) 青少年の SNS に係るトラブルが増加していることから、小・中学校においてタブレット端末の正しい使い方と危険性について指導・啓発を一層進めていかなければならない。

I 総合教育会議

- (1) 新教育委員会制度により、町長が招集する「総合教育会議」を令和5年6月14日に開催し、副町長と出雲崎町の教育について意見交換を行い、教育現場の現状や児童・生徒の様子について話し合いを行いました。

出席依頼者	出雲崎町副町長	山田 正志
	教育長	曾根 乗知
	教育委員	佐藤 正志
	教育委員	大磯多華子
	教育委員	宮田よしみ
	教育委員	松岡 聡
	教育課長	内藤 良治
	管理指導主事	近藤 道範
	教育課参事	吉岡 育子
	教育課課長補佐	高橋 聡
	教育課学校教育係長	小林 ひろ子

・意見交換の基となる教育長、管理指導主事からの説明事項

1 出雲崎町の教育の現状と課題について（教育長）

今年度の教育方針として、第3次出雲崎町生涯学習推進計画に基づき、以下の視点からの説明があった。

(1) 学校教育

重点「望ましい人間関係構築からの学力向上」

ア 主体的・対話的で深い学びの実現

(ア) 個別最適な学び

(イ) 協働的な学び

(ウ) 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

(エ) 指導と評価の一体化

イ いじめをしない、許さない、命を大切にする意識の醸成

(ア) 道徳教育

(イ) 人権教育、同和教育

(2) 社会教育

重点「学んだことを活かすことで、さらなる学びに発展させる」

ア オンラインと対面とのバランスを重視し、学びの選択肢を増やす

イ 「活用」機会を体系化し、その成果を数値等で見える化する

ウ 活力あるコミュニティ形成のための人材育成を充実させる

2 出雲崎町立小・中学校の現状と課題（管理指導主事）

学校教育現場から見た状況等の説明があった。

(1) 新型コロナウイルス感染症5類移行後の教育活動と学校管理

(2) 学力向上の取組

(3) いじめ・不登校の未然防止と発生時の的確な対応

Ⅱ 教育委員会の会議及び活動状況

(1) 定例会および臨時会の開催（定例会 5 回、臨時会 2 回）		
会議	日付	審議事項等
4 月定例会	4/26	奨学金の貸与 学校評議員、社会教育委員、公民館運営審議会委員、 教育行政点検評価員の委嘱、図書館協議会委員の任命 (議案 6 件)
6 月定例会	6/14	社会教育委員、公民館運営審議会委員、文化財調査 審議会委員の委嘱、教育費補正予算（6 月） (議案 4 件)
7 月臨時会	書面議決	令和 6 年度使用教科用図書の採択（1 件）
9 月定例会	9/8	教育費補正予算（7 月、9 月） (議案 2 件)
12 月定例会	12/4	教育費補正予算（12 月） (議案 1 件)
3 月定例会	3/6	社会教育委員、公民館運営審議会委員の委嘱 教育委員会表彰 教育費補正予算（2 月、2 月専決、3 月）、教育費当 初予算 (議案 7 件)
3 月臨時会	3/22	公民館長の任命、教育委員会事務局及びその他の教 育機関の職員の人事異動 学校給食の会計処理に関する規則の一部改正、学校 給食費助成金交付要綱の制定、地域の祭り支援補助 金交付要綱の制定、高校生通学費等助成金交付要綱 の一部改正、公設学習塾運営事業実施要綱の一部改 正、就学援助世帯応援支援金給付事業実施要綱の廃 止、第 2 回就学援助世帯応援支援金給付事業実施要 綱の廃止 (議案 9 件) 教職員の人事異動、教育委員会職員事務分担
(2) 教育委員研修		
・新潟県市町村教育委員連合会総会・研修会（7/21 五泉市）		
・意見交換会（柳津町 中止）		

・庁内研修 5回 「4月・6月・9月・12月・3月」
(3) その他の参加活動状況
・転入教職員面識会（4月3日）
・小・中学校入学式（4月10日）
・小学校運動会（5月27日）
・文化芸術鑑賞会（6月22日）
・町二十歳の集い（8月16日）
・中学校体育祭（9月2日）
・小学校学習発表会（10月21日）
・中学校音楽発表会・絵画展（10月21日）
・生涯学習フェスティバル（11月2日・3日）
・学校施設営繕視察検討会（12月4日）
・町教育委員会表彰伝達式（3月6日）
・小・中学校卒業式（3月25日、3月5日）

➤概要

令和5年度の教育委員会会議は、定例会を5回、臨時会を2回開催し、30件の議案を審議した。総合教育会議は児童・生徒等の生命・身体等の緊急の講ずべき課題はないために1回の開催となった。

また、教育委員の活動状況は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に位置付けられたことにより、徐々にコロナ禍前の状況に戻りつつある。

➤成果と課題

- (1) 副町長と教育委員による総合教育会議の開催より、町の教育の現況（課題）及び児童・生徒の様子について、情報共有を図り、両者の教育施策の方向性を共有し、一致して執行にあたることを確認できた。
- (2) 教育委員会を開催する際は、定例的に教育委員研修を実施することで、教育や子育て支援に関する新制度や児童生徒の現状を速やかに報告するなど教育委員と事務局の情報共有を進め、審議の活性化に努めた。
- (3) 教職員が児童・生徒の様子を把握し、何かあった時は校長のもとで初期対応をチーム学校で取り組む体制を構築していく。また「出雲崎町いじめ防止基本方針」による取組や学校とPTA、保護者などと連携しながら、「いじめを生まない、いじめを絶対見逃さない」意識を醸成していく。

- (4) 自然体験として小4～小6までを対象にスキー教室を行った。また小1～小3も雪遊びやスケートを通じて新潟県内に住みながら冬の体験活動の機会が少ないことから学校生活では体験できない自然環境で心身、技能を高める目的で今後も続けていく。
- (5) 教育支援相談は教育課と保健福祉課で連携して対応している。職員（保健師）による聞き取りや助言を行い、ケースによっては専門職による巡回指導やスクールカウンセラー事業での臨床心理士による相談により、児童生徒の保護者への支援を行っている。
- (6) 高校生の通学に係る保護者の経済的負担の軽減を図るため、通学定期券購入費用の一部を助成しており、通学が困難で寮生活されている生徒も対象にしている。
- (7) 小・中学校に入学する児童・生徒の保護者に対し、入学祝い金の支給を入学前の2月に支給し、入学時における家庭の経済的負担の軽減を図っている。
- (8) 若者の定住促進を図るため、奨学金の貸与を受け大学・専門学校等に就学した学生が卒業後に当町に定住し就職された場合に返還する奨学金の一部を助成し、着実に成果を上げている。
- (9) 昨今の通学途中の犯罪や交通事故を背景に、登下校の児童・生徒の安全確保が求められており、冬期間に限り自宅から3km以上の中学生にスクールバスの運行を継続し、遠距離生徒の通学の安全確保が図られている。
- (10) 町と出雲崎高校との包括協定が締結され、交流や連携を図りながら同校の持続的発展、地域貢献できる人材に結びつけるため、教育活動への人的・物的資源の活用や支援を積極的に行っていく。



総合学習（良寛学習 小3）



学習発表会

Ⅲ 学 校 教 育

1. 出雲崎小学校

令和5年度

出雲崎小学校

学校評価だより

7月にご回答いただいた学校評価アンケートにおいては、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。下記のとおり集計結果と今後の課題についてまとめましたので、お知らせいたします。

今後とも、全職員一丸となって教育活動に邁進していきますので、変わらぬご支援とご協力をお願いいたします。

出雲崎小学校 校長 中澤 広行

グランドデザインの評価目標（知育 85%以上、徳・体 90%以上）に

 達している。  目標まで 5%以内

↑↓：昨年度後期の結果と比較して、5ポイント以上の変容

児童アンケート				保護者アンケート			
No.	項 目	評価	比較	No.	項 目	評価	比較
	1 学校は楽しいですか。	 96		1	お子さんは、学校が楽しいと感じていますか。	 96	
知育	2 授業中、進んで学習（自分で考えたり、発表したり、友だちと相談したり）できましたか。	 87		2	お子さんは、進んで学習に取り組んでいる様子が見られますか。	 73	
	3 授業が分かりますか。	 97		3	お子さんは、学校の学習内容を理解していると感じますか。	 85	
	4 毎日、学年×10分以上の家庭学習をしていますか。	 85	↓	4	お子さんは、学年×10分以上の家庭学習に取り組んでいますか。	 71	↓
				5	お子さんに、家庭学習に取り組むための働きかけ（励ましや宿題の確認、アドバイスなど）をしていますか。	 84	
徳育	5 係活動や当番活動、委員会の仕事などで、周りの人の役に立てたと思いますか。	 89	↓	6	家庭で、お子さんに手伝いをさせたり、仕事を任せたりしていますか。	 71	
	6 友達に、優しい言葉をかけていますか。	 98		7	お子さんに、肯定的で温かな言葉かけをしていますか。また、お子さんが乱暴な言葉遣いをしたときは指導していますか。	 95	
	7 相手の目を見て、あいさつすることができましたか。	 83	↓	8	お子さんは、家庭や地域で、相手の目を見てあいさつをしていますか。	 72	
体育	8 休み時間や体育の時間に、進んで運動しましたか。	 88					
	9 体育の時間などで、自分のめあてに向かって、練習したり努力したりしましたか。	 92					
	10 メディア（テレビ・ゲーム・スマホ・パソコン等）に関する家の人との約束を守っていますか。	 94		9	メディア（テレビ・ゲーム・スマホ・パソコン等）について、家庭でルールをつくり、守らせていますか。	 80	
				10	学校・学年からのたより等で、学校の活動やお知らせが適切に伝わっていますか。	 96	

「前期評価」欄の数値は、アンケートでの肯定的回答を百分率（%）で表しています。学校のグランドデザインで示してある目標の達成度は   で示し、矢印は昨年度後期の評価と比較して5ポイント以上変化があった場合に示してあります。評価結果が多少上下している項目もありますが、概ね80%以上の良い評価と受け止めています。

低下している項目については、関係する取組の仕方を工夫し、マイナス傾向の評価をしている児童への支援・働きかけに留意していきます。

知育



豊かな学びを創る

「学校が楽しい」「授業が分かる」に関する項目で、児童の肯定的な回答が高く、学習意欲の高まりが感じられます。興味をもてる学習課題や課題解決への見通しといった学習の進め方への配慮、複数職員でのきめ細かな指導や温かな声掛け等による成果と思われます。今後も職員の研修を積み重ね、「主体的な学習」「進んで取り組む」ことのイメージを共有し、児童に還元できるようにしていきます。

しかし、家庭学習の取組が年々低下傾向にあることから、「家庭学習のすすめ」を配付し、家庭学習の基本的な取組を全校で統一して促していくことにしました。担任からはお薦めの家庭学習を提示していくと思います。それらを参考にしながら、ご家庭でも家庭学習の習慣化が図れるよう、温かな励ましをお願いいたします。

徳育



豊かな感性と社会性を育む

「優しい声掛け」が、高評価で安定的に継続されてきています。優しく温かな言葉のやりとりが、お互いに優しい心を育てていくことになります。

しかし、「周りの役に立つ」項目が低下傾向にあります。周りの人の役に立つ自分に気付くということは、自己肯定感を高めます。「やって当たり前」ではなく、積極的に「ありがとう」「助かったよ」の感謝を表す言葉を使って、お子さんのよさを伸ばしていきましょう。

「あいさつ」については、2学期の重点と捉え、学級であいさつの意味やその必要性について子どもたちに考える機会を設け、あいさつをすることは大切なことだと理解できるよう工夫しているところです。

体育



健康・安全と体力の向上を図る

「めあてに向かって練習・努力」への肯定的回答が高い割合でした。体育の内容としては、1学期は主に運動会、体力テストと、児童が主体となる機会が多くはありませんでした。2学期からは、めあてをもって楽しんで行われる内容が増えていくので、「進んで運動」することが増えると期待しています。また、ハッピーライフウィークでの取組によって、自分の生活習慣を見直す機会になったようです。

メディアについては、家庭でのルールづくりと、それを守るようにする家族の取組が肝心です。上手にメディアを利用できるようになるために、時間と内容をきっちりとしていく必要があります。そのためには、家庭の教育力がとても重要になります。学校でも、指導や危険性への啓発をしていきます。ご家庭でも、保護者がよい見本となるよう、お願いいたします。

令和5年度

出雲崎小学校

学校評価だより

後期の学校評価アンケートにつきまして、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。下記のとおり集計結果と今後の課題についてまとめましたので、お知らせいたします。

今後とも、全職員一丸となって、教育活動に邁進していきますので、変わらぬご支援とご協力をお願いいたします。

出雲崎小学校 校長 中澤 広行

グランドデザインの評価目標（知育 85%以上、徳・体 90%以上）に



達している。



目標まで 5%以内

↑↓：今年度前期の結果と比較して、5ポイント以上の変容

児童アンケート				保護者アンケート			
No.	項 目	評価	比較	No.	項 目	評価	比較
1	学校は楽しいですか。	95		1	お子さんは、学校が楽しいと感じていますか。	90	↓
知育	2 授業中、進んで学習（自分で考えたり、発表したり、友だちと相談したり）できましたか。	87		2	お子さんは、進んで学習に取り組んでいる様子が見られますか。	71	
	3 授業が分かりますか。	94		3	お子さんは、学校の学習内容を理解していると感じますか。	80	↓
	4 毎日、学年×10分以上の家庭学習をしていますか。	82		4	お子さんは、学年×10分以上の家庭学習に取り組んでいますか。	72	
				5	お子さんに、家庭学習に取り組むための働きかけ（励ましや宿題の確認、アドバイスなど）をしていますか。	76	↓
徳育	5 係活動や当番活動、委員会の仕事などで、周りの人の役に立てたと思いますか。	90		6	家庭で、お子さんに手伝いをさせたり、仕事を任せたりしていますか。	76	↑
	6 友達に、優しい言葉をかけていますか。	99		7	お子さんに、肯定的で温かな言葉かけをしていますか。また、お子さんが乱暴な言葉遣いをしたときは指導していますか。	95	
	7 相手の目を見て、あいさつすることができましたか。	87		8	お子さんは、家庭や地域で、相手の目を見てあいさつをしていますか。	63	↓
体育	8 休み時間や体育の時間に、進んで運動しましたか。	86					
	9 体育の時間などで、自分のめあてに向かって、練習したり努力したりしましたか。	93					
	10 メディア（テレビ・ゲーム・スマホ・パソコン等）に関する家の人との約束を守っていますか。	91		9	メディア（テレビ・ゲーム・スマホ・パソコン等）について、家庭でルールをつくり、守らせていますか。	76	
				10	学校・学年からのたより等で、学校の活動やお知らせが適切に伝わっていますか。	89	↓

数値は、アンケートでの肯定的回答を百分率（%）で表しています。学校のグランドデザインで示してある目標の達成度は で示し、矢印は前期の結果と比較して5ポイント以上変化があった場合に示してあります。保護者アンケートの結果が下がっている項目が多く、学校への期待と捉え、3学期から次年度に向けて、裏面のように改善に努めて参ります。今後とも、学校と保護者と手を携えて、子供たちの健やかな成長を促し、支援していきます。

知育

豊かな学びを創る



授業への理解や家庭学習に関する項目で、大きな変容はないものの、保護者からは低下傾向に見られているようです。

今後も、学力向上につながる分かる授業を目指し、担任が変わっても継続できるよう、全教員が統一した授業過程ができるように用具を整え、研修を深めていきます。また、個に応じた学習支援を継続して丁寧に行っていくよう、保護者と連携をとりながら、次年度への引継がスムーズに行えるようにしていきます。家庭学習として、学年が上がるにつれて自主学習を主体的に行えるよう、取組を工夫していきます。

ご家庭でも、家庭学習の習慣化が図れるように、励ましの声かけをどうぞよろしくお願いいたします。

徳育

豊かな感性と社会性を育む



「学校が楽しい」「優しい声掛け」の項目で、児童からの肯定的評価が高く、学校行事や児童会行事等がかかわる活動の成果であると思われます。時には強い言葉遣いも見られる時もありますが、他者への感謝という意識で学級の枠を超えて取組を継続し、心を育てていきます。

課題であったあいさつでは、あいさつ推進の取組によって、あいさつの意味を感じてきているようです。進んであいさつができるよう、今後も工夫した取組を行い、気持ちの伝わるあいさつへと意識を高めていきます。家庭でも、あいさつを交わし合うようお願いいたします。

体育

健康・安全と体力の向上を図る



体育の授業でめあてカードを活用し、児童の意欲をさらに引き出せるように工夫して活動しています。「めあてに向かって、練習・努力」への肯定的回答が90%以上あるのも、その成果とされます。「進んで運動」の項目では、その回答がやや低いのは、子供たちの運動の捉え方が一定ではないのでしょうか。スポーツ的な動きがよくて、鬼ごっこ等の遊びは入らないイメージなのかもしれません。次年度は、項目の言葉を少し変えて、分かりやすくしたいと考えています。進んで運動する機会として、3学期には運動委員会が、縄跳びの全校イベントを行います。今後も、運動に親しむきっかけとなる活動をしていきます。

2. 出雲崎中学校

令和5年度 出雲崎中学校グランドデザイン



教育目標

豊かな心 たくましい実践

“ふるさと出雲崎”に根付く

「心耕」の精神

「心耕」の精神 ⇒ 「たくましい実践」を通して、「豊かな心」を醸成します

【豊かな心】

- 「自律の心」…自分で考え、判断し、行動する
- 「慈愛の心」…互いに認め合い、思いやる
- 「挑戦の心」…高い目標を掲げ、自己を磨く

【たくましい実践】

- ← 自分で考え、自分の思いを伝えよう
- ← 自分と仲間のために行動しよう
- ← あきらめず、粘り強くやり抜こう

【令和5年度の重点『目指す生徒の姿』】

【知】意欲をもって、わかるまで、できるまで学ぶ生徒	【徳】お互いを思いやる、心優しい生徒	【体】目的をもって自己に挑戦し、自ら鍛える生徒
【努力事項】 ○学習指導要領を確実に実施するとともに、学習習慣の定着を図り、知識・技能を高める。 ○課題設定や発問を工夫し、考え、議論する場面を設定することにより、思考力・判断力・表現力を高める。 ○学ぶ意義を理解させ、学びの有用性を感じさせることにより、主体的に学習に取り組む態度を育てる。 ○ICTを活用し、学びのデータや習熟度に応じた指導・支援を充実させることにより、個別最適化された学びの実現を図る。 【目指す生徒の姿】 ○より良く表現しようとする姿 ・授業や生徒会活動等、学校生活の中で、各自が学期毎に5回以上文章や言葉で発表する。 ・「より良い表現」を意識して発表に取り組む。 ○学びに向かう姿 ・チャイムと同時に授業に取り組む。 ・スモールステップで学習を積み上げながら、基礎力を身に付ける。 ・家庭学習について、毎日60分＋学年×10分以上、内容を工夫して計画的に取り組む。 ○読書への関心 ・月2冊以上の読書をする。	【努力事項】 ○思いやりをもち、自己や他者、社会にとってより良い判断ができるよう、「考え、議論する道徳」を推進する。 ○同和教育を中心とした人権教育を推進し、人権意識の高揚を図り、差別や偏見を許さず、自他を大切に行動することができる力を育む。 ○教育活動の様々な場面で、「人とかかわる」交流の場面を設定し、集団の中で自己有用感を高めるとともに、互いの良さを実感させ、思いやりの心を育てる。 【目指す生徒の姿】 ○自己肯定感・自己有用感 ・専門委員会や学級の係活動等で自分の役割を果たす。 ・学校生活において、決められた仕事だけでなく、自分で気付いて仕事を行う。 ○豊かな人間関係 ・周囲と接するときに「慈愛」意識した言動を心掛ける。 ・悩みや困ったことがあったら、家族や先生友人に相談することができる。	【努力事項】 ○自分の健康や体力の向上に関心をもち、自分の生活を振り返りながら、主体的に健康を維持管理していこうとする態度を育てる。 ○基本的な生活習慣の隔離に向けて、計画的・継続的な指導を徹底する。 ○教育活動全体を通して、生徒の前向きな取組、より高い目標に向かって努力しようとする姿勢を賞讃、奨励する。 【目指す生徒の姿】 ○体力の向上 ・体育の授業や部活動、昼休み等、日常生活の中で運動やスポーツに親しみ、意欲的に取り組む。 ・新体力テストにおいて、県平均を36項目中24項目以上超える。 ○基本的な生活習慣の確立 ・「ハッピーライフウィーク」の取組の中で ①23時までには寝て、朝7時までには起きる。 ②メディア（勉強目的以外のタブレット使用、SNS、パソコン、ゲーム）の使用を2時間以内にすする。 ③毎日3食を欠かさず食べる。



地域・保護者との協働	出雲崎町の学校教育の基本理念	小学校との協働（小・中一貫教育）
◎地域の組織・人材 ・学校支援地域本部事業 ・学校評議員会 ・地域コーディネーター ・地域おこし協力隊 ・地域の事業所、福祉施設等 ◎家庭との協働 ○基本的な生活習慣の確立 ・ハッピーライフウィークでの連携 ・家庭でのメディアのルールづくり ○規範意識の確立 ・家庭内ルールの育成 ○豊かな人間性の育成 ・挨拶、言葉遣い、身だしなみ ○学習支援 ・家庭学習のみとりと支援・確認	◎生きる力の基盤となる確かな学力の育成（知） ・知識及び技能の習得、思考力・判断力・表現力の育成、学びに向かう力・人間性の涵養 ◎豊かな心、倫理観、規範意識をはぐくむ教育の推進（徳） ・善悪を的確に判断し、互いに認め合い協力して活動する能力の育成 ◎夢と志をもち、健康でたくましい心身の育成（体） ・積極的に挑戦する態度、最後までやり抜く強い意志と行動力を支えるたくましい心と健康な身体力の育成	◎小・中一貫教育活動の推進 ・9年間を通した授業規律の徹底 ・9年間を通した家庭学習の確立 ・「わかる」を積み重ねる指導の工夫 ・課題の洗い出しと系統的な指導の充実 ・「知・徳・体」の3部門での連携 ・9年間の見通しをもった「良寛学習」 ・発達段階に応じた体験学習の設定 ・道徳教育、キャリア教育の充実 ・継続的な情報交換による生徒指導 ・積極的な交流活動 ・キャリアパスポートによる連携 ◎学力の向上に向けて ・共に伝え合い、学び合う場の設定 ・話し合い活動の計画的な設定 ・授業のUD化の推進 ・家庭学習指導の継続と連携



知育

知		評価項目	評価基準		評価	備考
より良く表現しようとする姿	成果	より良く表現しようと努力する生徒が増加する。	生徒アンケートで イの項目が A:後期の結果が前期を上回る B:同程度 C:下回る	前期 84% 後期 91%	A	
	教育活動	ア 学校生活の中で学期毎に5回以上発表する。	生徒アンケートで A:4 回以上の生徒が 80%以上 B:4 回以上の生徒が 60%以上 C:Bに満たない	85%	A	授業や生徒会活動など、学校生活の中で、文章や言葉で発表する機会が月に何回くらいありましたか。 5 回以上・4 回・3 回・2 回以下
		イ「より良い表現」を意識して、表現することができる。	生徒アンケートで A:4, 3 の生徒が 80%以上 B:4, 3 の生徒が 60%以上 C:Bに満たない	91%	A	言葉や文章で発表するときに、より良い表現になるように意識して取り組みましたか。 4・3・2・1
	運営活動	ア 各教科、領域を通して、発表の機会を学期毎に2回設定する。	教師の評価で、全教師の合計が A:4, 3 の教師が 100% B:4, 3 の教師が 80% C:Bに満たない	91%	B	各教科や領域を通して、発表の機会を学期毎にどのくらい設けましたか。 3 回以上・2 回・1 回・0 回
イ「より良く表現しようとする姿」を意識し、生徒が成果を感じられるように、表現活動を計画する。		教師の評価で A:4, 3 の教師が 100% B:4, 3 の教師が 80% C:Bに満たない	69%	C	「より良く表現しようとする姿」の 5 項目を意識して表現活動を支援しましたか。 4・3・2・1	
学びに向かう姿	成果	家庭学習や、授業に意欲的に取り組む生徒が増加する。	生徒アンケートで ウ②の項目が A:後期の結果が前期を上回る B:同程度 C:下回る	前期 9% 後 96%	A	
	教育活動	ア チャイムと同時に授業に取り組む。	生徒アンケートで A:4, 3 の生徒が 80%以上 B:4, 3 の生徒が 60%以上 C:Bに満たない	94%	A	チャイムと同時に授業に取り組みましたか。 4・3・2・1
		イ スモールステップで学習を積み上げながら、基礎力を身に付ける。	小テスト、単元末テスト等の達成状況が A:全教科で 80%以上 B:全教科で 60%以上 C:Bに満たない	57%	B	5 教科の授業担当が評価 追試等も含む 80%以上・70%以上・60%以上 ・60%未満
		ウー① 毎日60分+学年×10分以上家庭学習に取り組む。	生徒アンケートで A:学年目標達成者が 80%以上 B:60 分以上達成者が 80%以上 C:Bに満たない	1年 17% 2年 58% 3年 53%	B	1日平均どのくらい家庭学習をしていますか。 学年目標以上・60 分以上・30 分以上 ・それ以下
		ウー② 家庭学習の内容を工夫し、計画的に取り組んでいる。	生徒アンケートで A:4, 3 の生徒が 80% B:4, 3 の生徒が 60% C:Bに満たない	90%	A	授業で学習したことが身に付くように、家庭学習の内容を自分で考えて、改善しながら取り組みましたか。 4・3・2・1
	運営活動	ア チャイムと同時に授業がスタートできるように授業を計画する。	教師の評価で A:4, 3 の教師が 100% B:4, 3 の教師が 80% C:Bに満たない	91%	B	チャイムと同時に授業をスタートさせることができましたか。 4・3・2・1
		イー① 各教科で、小テストや単元末テスト等を実施し、達成感を感じさせながら、基礎力を身に付けさせる。	教師の評価で A:4, 3 の教師が 100% B:4, 3 の教師が 80% C:Bに満たない	100%	A	5 教科の授業の授業担当者が評価 小テストや単元末テストで、達成感が感じられるように支援しましたか。 4・3・2・1
		イー② 各教科で、授業と家庭学習をつなぐ学習内容を助言する。	教師の評価で A:4, 3 の教師が 100% B:4, 3 の教師が 80% C:Bに満たない	100%	A	全教科の授業担当が評価 その日の家庭学習でできることなど、授業中に積極的に助言しましたか。 4・3・2・1
		ウ 家庭学習の実施状況を確認し、助言、指導を行う。	教師の評価で A:4, 3 の教師が 100% B:4, 3 の教師が 80% C:Bに満たない	100%	A	各学年部の担当者が評価 家庭学習の実施状況を確認し、助言や指導を行いましたか。 4・3・2・1
	読書への関心	成果	本に触れる機会を増やし、読書の楽しさを感じられるようにする。	生徒アンケートで A:4, 3 の生徒が 80%以上 B:4, 3 の生徒が 60%以上 C:Bに満たない	43%	C
教育活動		ア 月 2 冊以上の読書をする。	生徒のアンケートで A:4, 3 の生徒が 80%以上 B:4, 3 の生徒が 60%以上 C:Bに満たない。	89%	A	月何冊ペースで読書をしていますか。 4 3 冊以上 3 2 冊以上 2 1 冊以上 1 0 冊
運営活動		ア 学級文庫を充実したり、おすすめの本を紹介したりすることで、読書への興味を引く。	教師の評価で A:4, 3 の教師が 100% B:4, 3 の教師が 80%以上 C:Bに満たない	83%	B	

徳育

徳	評価項目	評価基準	評価	備考
自己肯定感・自己有用感	成果	自分がクラスや学校の活動に貢献していると実感して学校生活を送る。 Q-Uの結果を活用する。 〈A.やる気のあるクラスをつくる〉 「16.自分もクラスの活動に貢献していると思う」 5点満点 〈C.日常の行動を振り返る〉 「11.みんなのためになることを自分で見つけ実行している」 4点満点(5点換算) A:2つの合計値が8点以上 B:2つの合計値が6点以上8点未満 C:Bに満たない	B	【2学期】 B(全校平均:7.69点) 〈A16〉3.70点、〈C11〉3.99点 1年生:8.36点 2年生:6.83点 3年生:7.89点 【1学期】 B 全校平均 7.75点 〈A16〉3.74点、〈C11〉4.01点 1年生:8.81点 2年生:7.08点 3年生:7.38点
	教育活動	ア 専門委員会や学級の係活動などで自分の担当の仕事に取り組む。 生徒の学校生活アンケートで 「委員会活動で自分の担当の仕事に取り組みましたか」 「係活動で自分の担当の仕事に取り組みましたか」 A:肯定的な評価割合が80%以上 B:肯定的な評価割合が60%以上80%未満 C:Bに満たない	A	【2学期】 A(全校平均:94%) 1年生:96% 2年生:88% 3年生:100% 【1学期】 A(全校平均:95%) 1年生:96% 2年生:90% 3年生:100%
	教育活動	イ 学校生活において、決められた仕事だけでなく、自分で気付いて仕事を行う。 生徒の学校生活アンケートで 「学校生活において、決められた仕事以外も自分で気付いて仕事をしましたか」 A:肯定的な評価割合が80%以上 B:肯定的な評価割合が60%以上80%未満 C:Bに満たない	A	【2学期】 A(全校平均:94%) 1年生:100% 2年生:96% 3年生:85% 【1学期】 A(全校平均:91%) 1年生:97% 2年生:83% 3年生:94%
	運営活動	ア 専門委員会や学級での取組について、他者からの評価の場を定期的に設定し、良さを認めたり、改善すべき点を指導したりする。 教師のアンケートで A:肯定的な評価割合が80%以上 B:肯定的な評価割合が60%以上80%未満 C:Bに満たない	A	【2学期】 A(100%) 内訳: A33% B67% 【1学期】 A(89%) 内訳: A56% B33%
	運営活動	イ 生徒会本部や毎月の専門委員会で振り返りを行うなど、活動の意味や学校生活向上に貢献する意義について指導する。 教師のアンケートで A:肯定的な評価割合が80%以上 B:肯定的な評価割合が60%以上80%未満 C:Bに満たない	A	【2学期】 A(100%) 内訳: A60% B40% 【1学期】 A(100%) 内訳: A70% B30%
豊かな人間関係づくり	成果	生徒が、クラスの中にとほっとしたり明るい気分になると感じている。 Q-Uの結果を活用する。 〈A.やる気のあるクラスをつくる〉 「14.クラスの中にとほっとしたり明るい気分になる」 A:平均点が4点以上 B:平均点が3点以上4点未満 C:Bに満たない	B	【2学期】 B(全校平均:3.90点) 1年生:4.54点 2年生:3.33点 3年生:3.83点 【1学期】 B(全校平均:3.84点) 1年生:4.39点 2年生:3.36点 3年生:3.78点
	教育活動	ア 周囲と接するときに「慈愛」を意識した言動を心掛ける。 生徒の学校生活アンケートで 「あなたは、人の気持ちをくみ取りながら行動するよう心掛けましたか」 A:肯定的な評価割合が80%以上 B:肯定的な評価割合が60%以上80%未満 C:Bに満たない ※次年度は、「くみ取り」を「考え」に変更。また、自身の行動に関する記述での回答項目を追加する。	A	【2学期】 A(全校平均:93%) 1年生:96% 2年生:88% 3年生:94% 【1学期】 A(全校平均:95%) 1年生:96% 2年生:96% 3年生:95%
	教育活動	イ 悩みや困ったことがあったら、家族、先生や友人に相談できる人がいる。 生徒の学校生活アンケートで 「悩みや困ったことがあったら、誰か相談できる人はいますか」 A:肯定的な評価割合が80%以上 B:肯定的な評価割合が60%以上80%未満 C:Bに満たない ※次年度は、相談相手や解決手段等に関する記述での回答項目を追加する	A	【2学期】 A(全校平均:93%) 1年生:93% 2年生:88% 3年生:100% 【1学期】 A(全校平均:90%) 1年生:90% 2年生:92% 3年生:89%
	運営活動	ア 学級活動や生徒会活動を通して、互いを尊重し合う人間関係作りを指導する。 教師のアンケートで A:肯定的な評価割合が80%以上 B:肯定的な評価割合が60%以上80%未満 C:Bに満たない	A	【2学期】 A(100%) 内訳: A60% B40% 【1学期】 A(100%) 内訳: A60% B40%
	運営活動	イ 日々の生徒の様子や変化を捉えて、生徒に進んで声をかけを行う。 教師のアンケートで A:肯定的な評価割合が80%以上 B:肯定的な評価割合が60%以上80%未満 C:Bに満たない	A	【2学期】 A(100%) 内訳: A54% B46% 【1学期】 A(92%) 内訳: A42% B50%

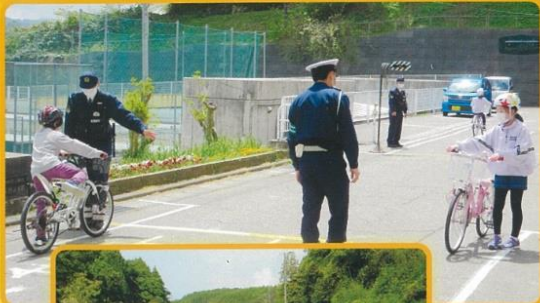
体育

体		評価項目	評価基準	評価	備考
体力の向上	成果目標	・2学期に実施する新体力テストで、36項目中、1学期に実施する新体力テストの県平均を24項目以上越える。(1学期は全48項目実施) ※1学期の新体力テスト:全国共通 ※2学期の新体力テスト:学校独自に実施 ※2学期は、屋内6種目のみ実施	2学期に行う新体力テストの結果で、36項目中、 A:24項目以上、県平均を上回る B:18項目以上、県平均を上回る C:Bに満たない。 ※ 総項目数:テスト6種目×各学年・男女6集団の合計=36項目	B	<1 学期> 15項目(48項目中)が県平均を上回る結果になった。 達成率31.2% <2学期> 18項目(36項目中)が県平均を上回る結果になった。 達成率50.0%
	教育活動	・体育授業や部活動、昼休み、日常生活のなかで、運動やスポーツに親しみ、意欲的に取り組む。	生徒の学校生活アンケートで「体を動かすことやスポーツが好きですか」という質問に A:好きという生徒が80%以上 B:好きという生徒が70%以上 C:Bに満たない。 ※男女とも数値が上回ることをとする。	C	好きという生徒(A 評価)での全校平均は 前期 60.9% 後期 62.7% ※好き・やや好き(A・B 評価)での全校平均は 前期 88.4% 後期 89.6% 1年生男子、女子、2年生男子、3年生男子が A 評価多め。
	運営活動	・体育授業の準備運動で、体力づくり運動を毎時間実施する。(生徒が考案した出中トレーニングも含む)	4月～10月(水泳授業のある7月を除く)体育(準備運動)で、体力づくり運動を A:総時数の75%以上の時間で実践 B:総時数の60%以上の時間で実践 C:Bに満たない。	A	毎時間の授業開始時に ・ランニング ・筋力トレーニング (腕立て、腹筋、背筋、スクワット、バーピージャンプ)
基本的な生活習慣の確立	成果目標	・ハッピーライフウィークでの基本的な生活習慣の重点3項目を守って生活できる。	教育活動の重点3項目の取組で A:3項目を達成する B:2項目を達成する C:Bに満たない	B	A 評価を超えた項目は「3食しっかり食べる」のみであった。
	教育活動	・ハッピーライフウィークで ①23時までには寝て、7時までには起きる。	生徒取組カードで A:85%以上の生徒が実施 B:70%以上の生徒が実施 C:Bに満たない。	B	6月(前期) 9月(後期) ①全校 78.9% ①全校 79.5% 1年 82.1% 1年 87.5% 2年 75.8% 2年 79.5% 3年 78.9% 3年 71.4%
		・ハッピーライフウィークで ②メディアの使用を2時間以内ににする。 ※勉強目的でのタブレット使用以外、SNS、ゲーム。パソコンを指す。	生徒取組カードで A:90%以上の生徒が実施 B:80%以上の生徒が実施 C:Bに満たない。	B	②全校 88.0% ②全校 84.4% 1年 88.3% 1年 82.1% 2年 83.9% 2年 83.2% 3年 91.7% 3年 88.0%
		・ハッピーライフウィークで ③3食をしっかり食べる。	生徒取組カードで A:90%以上の生徒が実施 B:80%以上の生徒が実施 C:Bに満たない。	A	③全校 95.5% ③全校 96.4% 1年 99.5% 1年 98.2% 2年 94.4% 2年 99.4% 3年 92.5% 3年 91.7%
	運営活動	・ハッピーライフウィーク中、カードを使って個々の睡眠の評価と生活指導を行う。	ハッピーライフウィーク中に担任が学年主任、養護教諭のいずれかが A:毎回、必要な生徒に向けて必要な生活指導を行う。 B:年間1回以上、必要な生徒に向けて必要な生活指導を行う。 C:Bに満たない。	A	正しい生活習慣について、ハッピーライフウィークに合わせてビデオ視聴を行った。 前期は 82%の生徒が生活習慣の向上に向けて取り組んだ。後期は 85%となり、生徒の生活習慣向上意識が上がっている。

3. 学校支援地域本部事業



出雲崎小学校



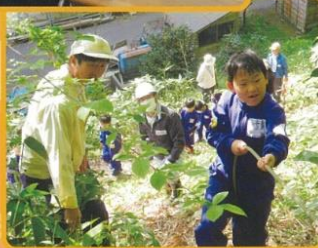




令和6年3月

学校支援地域本部事業報告

活動のあゆみ


運営委員長 内 藤 仁

感染症による行動制限が緩和された今年度、出雲崎小・中学校では、従来どおり地域との関わりを大切に考え、教育活動を行ってきました。地域の人や自然、歴史、文化などに触れ、様々な体験を通して学ぶことは、学びを深め、心をより豊かにし、地域への愛着を育みます。地域と様々な関わりをもつことは、子供たちにとってかけがえのないものであることを改めて実感できた一年でした。今後も、子供たちの健やかな成長を支援してまいります。

このパンフレットにて、小・中学校の教育活動の一端をご報告いたします。地域の皆様におかれましては、今後も一層のお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。








出雲崎中学校

1年

ほなみが丘探検隊！～大好き！出雲崎小学校～



出雲崎小学校の裏には、自然豊かな「ほなみが丘」があります。4月24日(月)にまたぎの会の方々がいらっしゃり、ほなみが丘にある植物についてたくさん教えていただきました。子供たちは、ロープを使って上まで登ったり、タケノコを触ったり、広場を駆け回ったり、とても楽しそうでした。



2年

町のすてき大発見 ～わたしの町大好き～



「梅もぎ体験」や「梅ジュース作り」を通して、地域の良さと恵みを感じました。「町探検」では、地域にあるお店を訪問し、町で働く人と出会い、思いを感じました。「島崎川生き物調査」では、島崎川に生息する生き物をたくさん見付けました。これらの経験を通し、一人一人が出雲崎町のすてきや魅力を実感することができました。



3年

出雲崎のよさを知ろう！～見つけたよさを伝えよう～

3年生から始まった総合タイム。学習テーマを決める際、意外と出雲崎について知らないことに子供たちは気付きました。出雲崎のことで特に子供たちが気になったことは「良寛さん」「農業」「紙風船」の三つでした。良寛記念館や5年生の稲刈り、紙風船製造所の見学と農協の方の出前授業を通して、より深く出雲崎を知ることができました。また、出雲崎のよさを他の人にも伝えようとCMを作りました。CM作りを通して、改めて出雲崎の魅力に気付くことができました。



4年

くすのきエコチャレンジ隊 ～できることを考え、取り組もう～



プールの生き物調査

4年生は、生き物調査、水質調査、環境学習会、ごみの調査、浄水場・浄化センター見学などを通し、実際に自分が体験したり、見聞したりすることで、様々な環境問題について知り、このままではいけないという思いを強くもちました。関心のある環境問題ごとに分かれてグループを作り、より詳しく調べ、できることを考え、家庭や学級に呼びかけて取り組みました。環境問題の多くは人間の日々の活動で起きており、一人一人の心がけが大切なことに気付き、自分がまず実践することから始めたいという思いをもち、取り組んでいます。



島崎川の水質調査



浄水場見学



環境学習会

5年

食・色・職 ～「しょく」から見つめる～



おいしいお米になあれ!

米作りや梅干し作りなどを体験し、「食」べることは簡単ではないこと、自分の体は自分が食べたもので「色」取られていくため、栄養を考えて食事を取る必要があることに気がきました。食べることに関わる「職」業に就く方々へインタビューにも行きました。そして、生産者や調理してくださる方々の思いや願いもいっしょにいただきたいと感じました。

自分のため、食に関わる方々のため、地球のために、これからも「しょく」を考え、実践していきます!



食の達人に学ぶ



突撃! あおぞら市場



みんなの笑顔から得る喜び

6年

オリーブ19人の 明るい未来と夢へつながよう



ラーメン屋さんでの仕事体験

人やものなどとの出会いを通して学んだことを、自分の夢や生き方に生かしていきたい。そんな思いで活動を進めてきました。「将来の仕事選びで重視することは」「自分に適正な職業とは」「なりたい職業に就くためにはどんな力が必要か」など、自分とじっくり見つめ合いました。

保護者の方の職場で仕事を体験させていただき、働くことの意義や仕事に対する姿勢を学びました。また、音楽発表会へご招待できなかった地域の福祉施設へ、歌のプレゼントを届けに行きました。自分たちのしていることで、たくさんの人を笑顔にすることができる、そんな喜びを感じました。



福祉施設へ歌のプレゼント



保育園での仕事体験



金山の世界遺産登録を目指す取組を学ぶ

ふるさとの方々から学ぶ

たくさんの方々からおいいただき、地域に関する様々な分野について学ぶことができました。



4月 自転車教室



5月 ブランチキャンパス



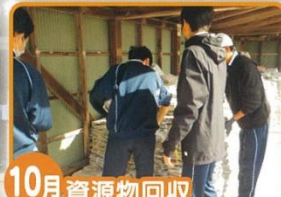
5月 農作業体験



6月 11月 防災教室



7月 あいさつ運動



10月 資源物回収



10月 薬物乱用防止教室



7月 12月 書写指導



11月 議会議員交流



11月 11月 おもいやりライトアクション



12月 性の指導



1月 卒業生激励



2月 良寛学習修了証「慈愛」授与式

出雲崎中学校の取組

出雲崎町の各事業所や良寛ゆかりの地を訪れ、自然、産業、文化など町の歴史や現在を学びました。

ふるさとへの愛着と誇りを育てる



体験学習



良寛学習

Ⅳ 社会教育事業の実施状況

1. 社会教育・公民館事業

①青少年教育事業

事業名	事業の対象	実施内容
出雲崎ッズ	小学生	実施日 8/21 (月) 場 所 新潟県立自然科学館 申込数 8名 目的及び内容 プラネタリウムや恐竜の暮らし等の中々触れることのできないものを通し、科学や歴史を学ぶことに加え、学友や家族との夏休みの思い出作りを目的とした。 
出雲崎公設学習塾 「まち塾」	中学生	実施回数 【中学校 2.3 年生】 27 名 火曜・水曜 18 時～21 時 (3 時間) 土曜・日曜 13 時～17 時 (4 時間) 夏期・冬期特別講座 13 時～17 時 (4 時間) 4 月～3 月開催 177 回実施 【中学校 1 年生】 19 名 夏期・冬期特別講座 13 時～17 時 (4 時間) 8 回実施 会 場 中央公民館 講 師 教員退職者 7 名配置 理 念 ・知的好奇心を高める学びの場を提供 ・自らの興味・関心分野を見つけ出す場 ・発展的な学びで出雲崎町や日本を担う人材育成 ・高等学校・大学への進学に対応する受験学力の定着
放課後子どもプラン ・放課後児童クラブ (放課後児童健全 育成事業)	小学校 1～6 年	実施回数 通年 (月～金放課後、第 1・3・5 土曜日、振替休業日、長期休暇期間) 会 場 出雲崎小学校体育館内 児童クラブ室 登 録 数 1 年生：12 名 2 年生：9 名 3 年生：11 名 4 年生：7 名 5 年生：1 名 6 年生：0 名 (3 月末現在) 目的及び内容 昼間保護者が不在となる家庭の児童の保護保育を図るため、遊びや生活の場を提供する。

事業名	事業の対象	実施内容
・放課後子ども教室	小学校 1～6年	会場 出雲崎小学校生活科室、中央公民館、町民体育館 申込数 1年生：10名 2年生：16名 3年生：17名 4年生：13名 5年生：7名 6年生：7名 目的及び内容 ・地域の教育力を活かし、体験や交流、学習など多様な活動の機会の提供 ・放課後等の安心安全な居場所づくり (主な内容) 野球教室、えいごあそびうた教室、英語教室 伝統文化おけさ教室、運動あそび塾、音楽あそび教室、 寺子屋教室、チアリーディング教室

「野球教室」



「えいごあそびうた教室」



「英語教室」



「伝統文化おけさ教室」



「運動あそび塾」



「音楽あそび教室」



「寺子屋教室」



「チアリーディング教室」



②一般教育事業（成人期・高齢期の学習活動）

事業名	実施内容
出雲崎総合大学	実施回数 全 10 回開催（歴史・文化・環境など幅広く実施） 受講者数 33 人 （延参加者 195 人） 実施内容 住民の学習意欲を促進し、健康で文化的な活力ある、 生きがいのある生涯学習社会の実現を図ることを目的 とした学習講座 〈主な講座〉 ・ 良寛記念館所蔵作品説明 ・ 新潟県立歴史博物館出前授業 ～北前船が運んだもの～ ・ 出雲崎の街並を歩く ・ 源川彦峰作品展・講演会 ・ 雪国建築の建物を学びながら （講座風景）  （閉校式記念写真） 

事業名	実施内容
公民館講座 料理教室 フラワー アレンジメント教室 古文書に親しむ講座 キッズダンススクール 金融教室 コーヒー教室 おうちパン教室	対 象 一般町民 実 施 日 講師都合により中止 実 施 日 R5 10/28(土) バスケット・アレンジ R5 11/18(土) 交差のアレンジ (生花) R5 12/16(土) フッシュ・ド・ネージュ 受講者数 5 名 講 師 明田川 綾子 氏 実 施 日 R5 9/21 (木) 「北越奇談」を読む R5 10/12 (木) 貞心尼の和歌を読む R5 10/19 (木) 河井継之助の書を読む 受講者数 13 名 講 師 小熊 よしみ 氏 実 施 日 1 期 7/5、12、19、31、8/2、8/9 計 6 回 2 期 9/27、10/4、11、18、25、11/1 計 6 回 3 期 2/29、3/7、3/21 計 3 回 イベント 10/7 天領の里イベント 10/29 いずもざきマラソン 11/3 生涯学習フェスティバル 計 3 回 受講者数 小学生 (1～6 年生) 17 名 講 師 磯野 詩愛 氏 対 象 一般町民 講 師 講師都合により中止 対 象 一般町民 実 施 日 講師都合により中止 対 象 一般町民 実 施 日 講師都合により中止

③芸術・文化活動

事業名	実施内容
文化芸術鑑賞会	対 象 出雲崎小学生、出雲崎中学生 来場者 約 300 人 実施日 6 月 22 日 (木) 内 容 魚沼産☆夢ひかり キッズミュージカル「ピノッキオの大冒険」
東京藝大生招致事業	参加者数 東京藝術大学 大学院生 13 名 実 施 日 8 月 18 日(金)～20 日(日) 2 泊 3 日 内 容 街並スケッチ画を制作し、完成した作品の鑑賞会と作品を町へ寄贈
第 19 回良寛さん 心の書道展	目 的 子どもたちに良寛さんの慈愛の心を継承する 対 象 出雲崎小・中学生 応 募 数 218 点 展示期間 9 月 9 日 (土) ～18 日 (月・祝) 会場：中央公民館講堂
生涯学習 フェスティバル	作品展示 11 月 2 日(木)～11 月 3 日(金・祝) (最終日来場者数 500 人) ステージ発表 11 月 3 日(金・祝) 廃棄図書の無料配布(図書館) 健康づくり・防災・交通安全ブース  
文化サークル 活動助成	・ 3 サークルに助成 書道、ガーデニング、英会話
関係団体活動助成	・ 3 団体に助成 奥の細道天の河俳句大会実行委員会 出雲崎妻入りの街並景観推進協議会 越後出雲崎街並活性研究会

④学校・家庭・地域の連携事業

事業名	実施内容
学校・家庭・地域の連携事業 (学校支援地域本部)	学校、家庭、地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる体制を整えることを目的としている。 地域コーディネーターが中心となって、地域の様々なボランティア指導者や団体と協力して小・中学生を対象に活動を実施。

⑤その他事業

事業名	実施内容
公民館だより発行	毎月1回(4ページ)、公民館の活動内容などを紹介した「公民館だより」を発行し、町の全世帯に配布。町ホームページにも掲載。仕分け作業等をふれあいサポートセンターに委託している。
生涯学習 カレンダー作成	公民館、町、学校などの事業予定を掲載したカレンダーを作成し、町の各世帯や事業所に3月6日に配布。(作成部数 1,750 部)
生涯学習 人材バンクの推進	目的 “誰でも何かの先生になれる”を合言葉に、自分の知識や経験、特技を教えたい、役立てたい方を登録する人材バンクを活かし、生涯学習の推進を図る。 対象 一般町民
良寛記念館	○ 年2回の特別企画展 ・前期特別展『菟められた良寛さま展Ⅱ』 ギャラリートーク 7月29日(土)開催 ・後期特別展『良寛と貞心尼師弟展』 ギャラリートーク 10月29日(日)開催 ○佐渡市良寛書画展&地域交流 7月8日(土)～9日(日) ○冬期『常設展』 併設特別展「近代の芸術家展」 ○良寛記念館応援倶楽部てまりの会会員所蔵作品展示 ○ 良寛記念館つるし雛飾り ○ ギャラリー音楽会・朗読会 3回実施(9月、11月、3月) ○ 良寛さん絵手紙コンテスト開催 6月～9月(作品募集) 11月21日(火)審査会実施

事業名	実施内容
北前船日本遺産 推進事業	○町家展示施設企画展 「出雲崎の船絵馬展」 船絵馬は、海上交通の安全を祈願して、地元や寄港地の神社に船主らが奉納したもの。羽黒神社船絵馬保存会の協力を得て、29面の船絵馬の複製を作製し、展示活用している。  ○北前船日本遺産ポータル 「北前船データベースの登録」 北前船日本遺産推進協議会が運営する北前船日本遺産ポータル内の「北前船データベース」に町の構成文化財を登録。各地の寄港地とともに、出雲崎の北前船関連資産散策マップ、動画、関連サイト等、様々なデジタルコンテンツのリンク先も掲載。

⑥施設利用状況（公民館・良寛記念館）

公民館利用者数

令和4年度（R4.4.1～R5.3.31）		令和5年度（R5.4.1～R6.3.31）	
海岸公民館	中央公民館	海岸公民館	中央公民館
1,914 人	9,703 人	1,739 人	14,617 人

良寛記念館入館者数

令和4年度（R4.4.1～R5.3.31）	令和5年度（R5.4.1～R6.3.31）
8,166 人	5,579 人

2 図書館事業

①図書館利用状況について（3月末日現在）

表1：分類別利用状況

	令和4年度 (R4.4.1～R5.3.31)		令和5年度 (R5.4.1～R6.3.31)	
	海岸公民館	中央公民館	海岸公民館	中央公民館
総記	43冊	5冊	33冊	7冊
哲学	50冊	37冊	55冊	22冊
歴史	104冊	7冊	52冊	15冊
社会科学	92冊	11冊	133冊	32冊
自然科学	88冊	23冊	105冊	22冊
技術	154冊	4冊	186冊	15冊
産業	70冊	3冊	36冊	5冊
芸術	85冊	12冊	101冊	14冊
言語	8冊	8冊	9冊	7冊
文学	2,383冊	949冊	1,899冊	740冊
絵本・紙芝居	632冊	189冊	745冊	129冊
雑誌	159冊	24冊	124冊	29冊
計	3,868冊	1,272冊	3,478冊	1,037冊

※ 年度別貸出冊数

令和3年度	令和4年度	令和5年度
4,615冊	5,140冊	4,515冊

表2：図書貸出年齢別貸出人数

	令和4年度 (R4.4.1～R5.3.31)		令和5年度 (R5.4.1～R6.3.31)	
	海岸公民館	中央公民館	海岸公民館	中央公民館
一般（23歳以上）	1,100人	326人	1,015人	345人
学生・生徒 （13歳～22歳）	22人	0人	5人	1人
児童（12歳以下）	106人	30人	163人	30人
合計	1,228人	340人	1,183人	376人

※年度別貸出人数

令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
1,589 人	1,568 人	1,559 人

表 3：貸し出し以外の図書館利用人数

	令和 4 年度 (R4.4.1～R5.3.31)		令和 5 年度 (R5.4.1～R6.3.31)	
	海岸公民館	中央公民館	海岸公民館	中央公民館
一般（23 歳以上）	145 人	42 人	238 人	43 人
学生・生徒 （13 歳～22 歳）	21 人	1,148 人	32 人	1,439 人
児童（12 歳以下）	35 人	0 人	25 人	7 人
合計	201 人	1,190 人	295 人	1,489 人

※年度別図書館来館者総数

令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
1,961 人	2,959 人	3,343 人

表 4：図書購入状況

	令和 4 年度 (R4.4.1～R5.3.31)		令和 5 年度 (R5.4.1～R6.3.31)	
	海岸公民館	中央公民館	海岸公民館	中央公民館
総 記	2 冊	1 冊	3 冊	0 冊
哲 学	1 冊	3 冊	5 冊	0 冊
歴 史	8 冊	1 冊	10 冊	0 冊
社会科学	14 冊	1 冊	16 冊	2 冊
自然科学	24 冊	4 冊	16 冊	0 冊
技 術	14 冊	3 冊	21 冊	4 冊
産 業	5 冊	1 冊	4 冊	1 冊
芸 術	4 冊	0 冊	11 冊	0 冊
言 語	2 冊	0 冊	1 冊	1 冊

	令和 4 年度 (R4.4.1～R5.3.31)		令和 5 年度 (R5.4.1～R6.3.31)	
	海岸公民館	中央公民館	海岸公民館	中央公民館
文 学	255 冊	126 冊	283 冊	86 冊
絵本・紙芝居	106 冊	43 冊	131 冊	26 冊
計	435 冊	183 冊	502 冊	120 冊
(雑誌種類)	7 種類	1 種類	7 種類	2 種類

※年度別購入冊数

令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
626 冊	618 冊	622 冊

②第 2 次出雲崎町子ども読書活動計画の策定

子どもの健やかな成長のために身近な家庭、地域、学校等のもとより、社会全体で子どもの読書活動を推進していくことがますます重要となっている。

このため、令和 5 年 3 月で終了した第 1 次計画の成果と課題を整理し、基本的な考えを継承しつつ更なる取り組みの拡大や継続的な充実を目指して、令和 5 年度から令和 9 年度の 5 年間を計画期間とする第 2 次出雲崎町子ども読書活動推進計画を策定した。

③その他事業

事業名	実施内容
ブックスタート事業	1 歳 6 ヶ月になる児童に絵本 3 冊を贈呈している。
親子文庫	小学校を通じて、小学 2～5 年生の家庭に対し、本のセット（児童とその保護者）を貸し出す。また、良寛に関する図書の配本も行った。
除籍図書の無償配布	11 月 3 日の生涯学習フェスティバルにおいて除籍した図書を無償で配布。
県立図書館図書の貸出	県立図書館からセット図書として 100 冊単位で借り受け、町民に貸出す。（年間 3 回実施） ※中央公民館・海岸公民館 1 回につき各 100 冊所蔵
良寛さんコーナー	今まで海岸公民館だけの設置であったが、令和 4 年度から中央公民館でも新設コーナーを設け、良寛さんに親しんでもらうよう取り組んでいる。

3 社会体育事業

①町内大会

大会名	実施日	備考 今年度（昨年度）
第45回 町民バレーボール大会	6月25日(日)	4チーム 39人 (5チーム 49人)
第17回 町民ウォーキング	10月15日(日)	10人 (17人)
第42回 町内ゲートボール大会	10月11日(水)	5チーム 36人 (6チーム 34人)
第34回 町民ソフトバレーボール大会	11月19日(日)	10チーム 54人 (12チーム 70人)
第8回 町民卓球大会	12月3日(日)	8チーム 52人 (11チーム 60人)
第37回 屋内ゲートボール大会	2月8日(水)	5チーム 31人 (6チーム 35人)
第43回 町民バドミントン大会	3月17日(日)	中止 (中止)
町民登山	5月28日(日)	弥彦山：10人 (弥彦山：10人)
	9月23日(土・祝)	至仏山：16人 (米山：7人)



至仏山登山



町民ウォーキング



町民ソフトバレーボール大会



町民卓球大会

②体力づくり事業(実施場所:町民体育館2階トレーニング室・中央公民館2階大広間)

事業名	実施日	備考 今年度(昨年度)
トレーニング教室	5月～3月 全20回	15名 (申込:11名)

③スポーツ教室等

大会名	実施日	備考 今年度(昨年度)
ワクワクチアリーディング教室	5月～8月 全12回	申込:10人 延べ:62人 (令和5年度新規教室)
わくわく水泳教室	7月31日～8月4日 全5回	申込:29人 延べ:128人 (申込:19人 延べ:85人)
柔道教室	—	中止(6人)
テニス教室	5月～10月 全20回	申込:19人 延べ:217人 (申込:18人 延べ:288人)
柔道昇級審査会	—	中止(6人)
さわやかスポーツ教室	通年(火) 全21回	申込:15人 延べ:143人 (申込:17人 延べ:166人)
いきいき体操教室	5月～12月 全10回	申込:12人 延べ:132人 (申込:9人 延べ:93人)
ストレッチボール教室	5月～9月 全20回 2月～3月 全8回	申込:26人 延べ:308人 (申込:15人 延べ:351人)
小学生スポーツチャレンジ教室	バレー:6～12月 全21回 卓球:中止	バレー 申込:16人 延べ:265人 (申込:18人 延べ:309人) 卓球 中止 (申込:5人 延べ43人)
スキー&スノーボード教室	2月18日(日)	29人(32人)



バレーボール教室



スキー&スノーボード教室

④体育協会主催事業

事業名	実施日	備考 今年度（昨年度）
姉妹都市 中学生交流スポーツ大会	7 月	会場：出雲崎町 中止 (中止)
姉妹都市 親善スポーツ大会	10 月	会場：出雲崎町 55人 ソフトバレーボール・野球 (中止)
いずもざきマラソン' 23	10 月	会場：出雲崎町 第1回開催 競技者：354人
第22回出雲崎町近郷ゲートボール大会	3月3日(日)	58人(87人)

⑤スポーツ推進委員関係

事業名	実施日	備考
中越地区社会体育研究協議会	4月21日(金)	長岡市
北陸地区スポーツ推進委員研修会	7月1日(土) ～2日(日)	福井県
新潟県スポーツ推進委員大会	9月30日(土) ～10月1日(日)	佐渡市
全国スポーツ推進委員研究協議会	11月16日(木) ～17日(金)	青森県
二市三刈羽ブロック研修会	10月28日(土)	刈羽村
中越地区社会体育総合研修会	9月2日(土)	柏崎市



いずもざきマラソン' 23



二市三刈羽ブロック研修会

⑥長岡地域定住自立圏スポーツ振興事業

・スポーツ指導者派遣事業

「コーディネーショントレーニング教室・モルック体験会」3月20日開催 23名

⑦スポーツマイレージ事業

町民体育館利用者にポイントを付与し、ポイントがたまると町内のお店で使える商品券と交換する事業 参加・登録者数→216名 特典達成者→100名

⑧体育施設利用状況

	令和4年度 (R4.4.1～R5.3.31)	令和5年度 (R5.4.1～R6.3.31)
町民体育館	18,853人	21,372人
(トレーニング室)	(7,000人)	(8,539人)
町民野球場	2,296人	1,619人
多目的運動場	1,360人	1,592人
プール	3,268人	4,547人
柔道場	324人	31人
屋内GB場	3,026人	2,705人

➤概要

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に位置付けられ、青少年や一般成人等を対象とした各事業について再開する動きが見られたことから、少しずつではあるが活動が活発化してきた。

次年度以降も学習意欲の高まりや多様化に対応できるよう感染症対策を取りながら内容の一層の充実を図っていく。

➤成果と課題

- 1 文化教室の受講者は高齢者が主であり、定期的に出かける場となることで孤立を防ぎ、仲間づくりにつながるのので有効なものと考えている。一方、参加者の高齢化や固定化により新規参加者が少ないことや若者参加の掘り起こしを行い、今後もニーズを捉えた教室開催が望まれる。
- 2 第3次生涯学習推進計画により、町民の誰もがいつでも、どこでも、生涯を通して自分らしく自主的に学習することができ、楽しみや生きがいの発見などにつながるよう生涯学習を推進していく。
- 3 放課後児童クラブの運営では常に定員を超える申込みがあり、現在のクラブ室では手狭なため校舎の空き教室を活用し、支援員の増員を行い平日、長期休暇に利用者のニーズにあった運営を行っている。

- 4 インターネットやスマートフォンの普及により読書離れが進んでおり、子どもたちの健やかな成長には読書を推進していくことが重要で、子ども読書活動推進計画により学校・家庭における読書推進を図らなければならない。
- 5 ネット社会の進展により、子供たちのネットいじめ、ネット依存などメディアコントロール力を高めることが課題である。家庭内でのメディアやゲーム機の決め事を話し合って、子供たちの心や行動に影響しない取組を継続していかなければならない。
- 6 町のシンボルであり重要な観光拠点でもある良寛記念館の発展に寄与することを目的とした組織「良寛記念館応援倶楽部てまりの会」は、設立から3年目を迎え、入会者も予定を上回り盛会であった。次年度も引き続き充実した活動を図っていく。
- 7 伝統芸能の育成は団体に働きかけ行いながら、一方で青少年育成講座などの教室で興味を持ってもらう動機付けが必要であるので、指導できる体制づくりをめざす。
- 8 町民のニーズにあったスポーツ活動の機会を町民と協働で実施していくことや現在行っている大会やイベントを一層充実していくことが重要で、そのために町民に知ってもらえるような情報発信の工夫が必要となっている。
- 9 家庭教育は自制心、自立心等を育成する大切な役割を果たすため、子どもの発達段階に応じた家庭教育に関する学習機会の提供や親が家庭教育に関して気軽に相談でき、家庭・学校・地域が連携し、地域全体で子育て家庭を支援していく体制づくりが必要である。

V 学校・社会教育施設の整備充実

➤整備の状況	1 学校教育施設の主な整備状況 ○ 小・中学校校舎棟照明 LED 改修工事 ○ 小・中学校インターネット環境改修 2 社会教育施設の主な整備状況 ○ 中央公民館 3 階照明 LED 改修工事 ○ 中央公民館 1 階図書コーナー空調設備改修工事 ○ 良寛記念館管理棟空調改修工事 3 社会体育施設の主な整備状況 ○ 町民体育館事務室空調設備改修工事 ○ 町民体育館 1 階照明 LED 改修工事 ○ 町民野球場キュービクル高圧コンデンサ交換工事 ○ 町民体育館壁面修繕工事 ○ 町民体育館トレーニングルーム空調設備修繕工事
---------------	--

➤概 要

本町は学校教育施設や社会教育、社会体育施設等の整備は、計画的に進めてきており、それぞれの施設の大規模改修や機器の購入などの整備は概ね完了している。本年度は施設の省エネ化や利用者の利便性向上を中心とした改修や機器の購入などを行った。

➤成果と課題

本年度は小・中学校の校舎棟照明 LED 改修工事を行い、省エネによる経常経費の削減及び今後の修繕費用の軽減が図られた。今後、年次計画により工事を進め更に LED 化を図っていく。

GIGA スクール 3 年目となった本年度は、タブレットによる学習が本格化したため、インターネット環境の増強を図った。その結果、インターネットがスムーズに繋がるようになり、学習の効率化が図られた。

社会教育・体育施設では、照明 LED 改修工事や空調設備の改修工事を中心に行い、利用者にとって快適と感じられる環境を整備することができた。今後も定期的に点検を実施し、施設を利用者が安心安全に利用できることに加え、利用率向上を意識した施設整備を進める。

厳しい財政状況の中、老朽化する施設の維持管理については、年次計画を立てた中で、更新・改修・整備等を図り、長寿命化などに対応していかなければならない。

Ⅵ 学識経験者からの総合評価

元長岡市立東中学校長 佐藤 忠弘

令和5年度は、「夢を育み、誇りある歴史、文化を継承するまちづくり」を基本目標とする第6次出雲崎町総合計画の2年目であるとともに、「学びの楽しさ、心の豊かさで生きがいのもてるまちづくり」を基本目標とする第3次出雲崎町生涯学習推進計画の3年目にあたる。

「本年度教育計画」の冒頭で、曾根教育長は、「令和の生涯学習社会の実現」と題し、学校教育の重点を「望ましい人間関係構築からの学力向上」、社会教育の重点を「学んだことを活かすことで、さらなる学びに発展させる」と掲げて、その具体的取り組み内容を明確に焦点化し明示している。本稿でも、学校教育と社会教育の2つの視点から、本年度の成果と今後の課題について整理したい。

学校教育においては、小、中学校ともに、校長の確かな学校経営方針を受け、教職員が同一志向性をもちながら、児童生徒、保護者、教職員への定期アンケート結果を基に常に改善への努力をされている。小学校では、95%以上の児童が「学校が楽しい」「授業が分かる」と回答している。個別最適な学び、協働的な学びが実践化され、主体的・対話的で深い学びが実現している証左といえる。また、中学校においても「学びに向かう姿」「自己肯定感」「豊かな人間関係づくり」のいずれにおいてもA評価を得ている。その具体的な成果の姿は、県の新聞活用教育（NIE）の研究委嘱を受け10月に公開した授業に見ることができる。「出雲崎町のよりよい未来を提案する」をテーマに、定住人口や関係人口を増やす提案発表が多角的になされた。高齢者支援、少子化対策、ふるさと納税の工夫等、生徒の主体的学びの姿が「理知的で複眼的な課題把握がなされている」との高い評価を得た。こうした学びを支える教職員のたゆまぬ日々の努力を称えたい。

社会教育においては、社会教育・公民館事業、図書館事業、社会体育事業のいずれにおいても、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う事業再開が増えて活性化の兆しが見られる。高齢者の生きがいや仲間づくりに資する文化事業や町民のニーズに即したスポーツ活動の充実への取組に敬意を表したい。また、地域ぐるみで子どもを育てる体制づくりの推進を大いに評価したい。出雲崎公設学習塾「まち塾」や放課後子ども教室も着実な成果を得ており、中学校部活動の地域移行でも学校と地域との連携が深まっている。さらには、出雲崎地域の文化財掘り起こしにも力を入れている。出雲崎町地域おこし協力隊が開設した「蔵と書」を中学生が訪ねる様子の記事が新聞（2024.1.7 新潟日報）に大きく掲載された。「地域とともにある学校」を象徴する一例であろう。

近年、教員志望者の減少問題が全国的な課題となっており、教員の人材不足、資質能力への懸念が高まってきている。学校と教育委員会との連携協力を一層高め、教職員の資質向上研修の充実に万全を期していただきたい。また、年々申込者が増大する放課後児童クラブの安全で円滑な運営を図るため、空き教室の活用、支援員の増員等に引き続き御尽力いただくようお願いする。

VII そ の 他

○指導いただいた学識経験者名 (敬称略)

職 名	氏 名	備 考
元長岡市立東中学校長	佐藤 忠弘	長岡市在住 (旧三島町)

○町教育委員会関係者名簿

—教育委員—

(令和6年3月31日現在)

職 名	氏 名	備 考
教育長	曾根 乗知	
委員	佐藤 正志	教育長職務代理者
委員	大磯 多華子	
委員	宮田 よしみ	
委員	松岡 聡	

—職員名簿—

職 名	氏 名	備 考
教育課長	内藤 良治	
管理指導主事	近藤 道範	
教育課参事	吉岡 育子	
教育課課長補佐	高橋 聡	
学校教育係長	小林 ひろ子	
社会教育係長	山崎 健太	
教育課主事	名子屋 龍司	
教育課主事	大矢 遼	
事務職員	竹村 しのぶ	
事務職員	小川 真紀子	
事務職員	高橋 美奈	
用 務 員	小林 秋子	
清 掃 員	柴田 圭一	
良寛記念館 館長	永寶 卓	学芸員
同 事務職員	小黒 晴美	
同 事務職員	大久保 淳子	
同 事務職員	佐藤 佐由里	